

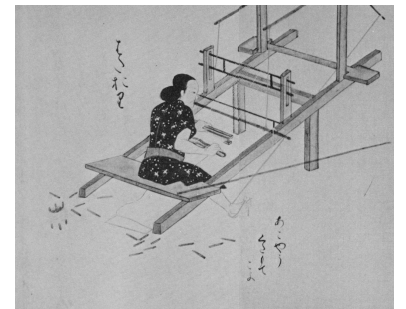


近江はたおり探検隊

●沿革

2002 年度企画展示「中世のむら探検」の「機織講」参加者がはしかけグループ「中世の女たち」を結成し、復元された地機を使って、機織り活動を行なっていました。

2004 年度には、ギャラリー展示「糸を紡いで布を織る—民具の復元・再現・体験—」が開催され、新たなメンバーが増えたことを機に、2004 年 7 月 10 日「近江はたおり探検隊」として再結成しました。



復元地機のもととなった絵図
（『七十一番職人歌合』1450 年頃）

●目的

地域に残された人とモノから近江の機織り文化を探究し、現在失われてしまった近江の良さを再発見し、地域の人々とともにその良さを伝えていく

●活動内容

織姫の会	月 2 回	主に博物館内実験工房で機織りや糸紡ぎ、草木染めなどを行っています。
はたおり探検	随時	滋賀県周辺の機織りや展示会の見学や、地域のおばあちゃんに糸づくりを習ったりしています。
機織用具製作	随時	地機や綿繰機、へそくり機などを民具をもとに製作したり、壊れた道具の修理をしたりしています。
綿の栽培など	随時	実験工房の畑で綿（和綿、洋綿、海島綿、緑綿）、藍、青花を栽培しています。

最近の活動

工房で栽培した綿から糸を紡ぎ、染め、機織りしています。
今回のデザインや技法は、国登録有形文化財「大津市田上の衣生活資料」を参考にしました。



工房で収穫した綿



作った糸を煮る



糊づけ



チキリ巻



整経



箴（おさ）通し



地機で機織り



復元した野良着